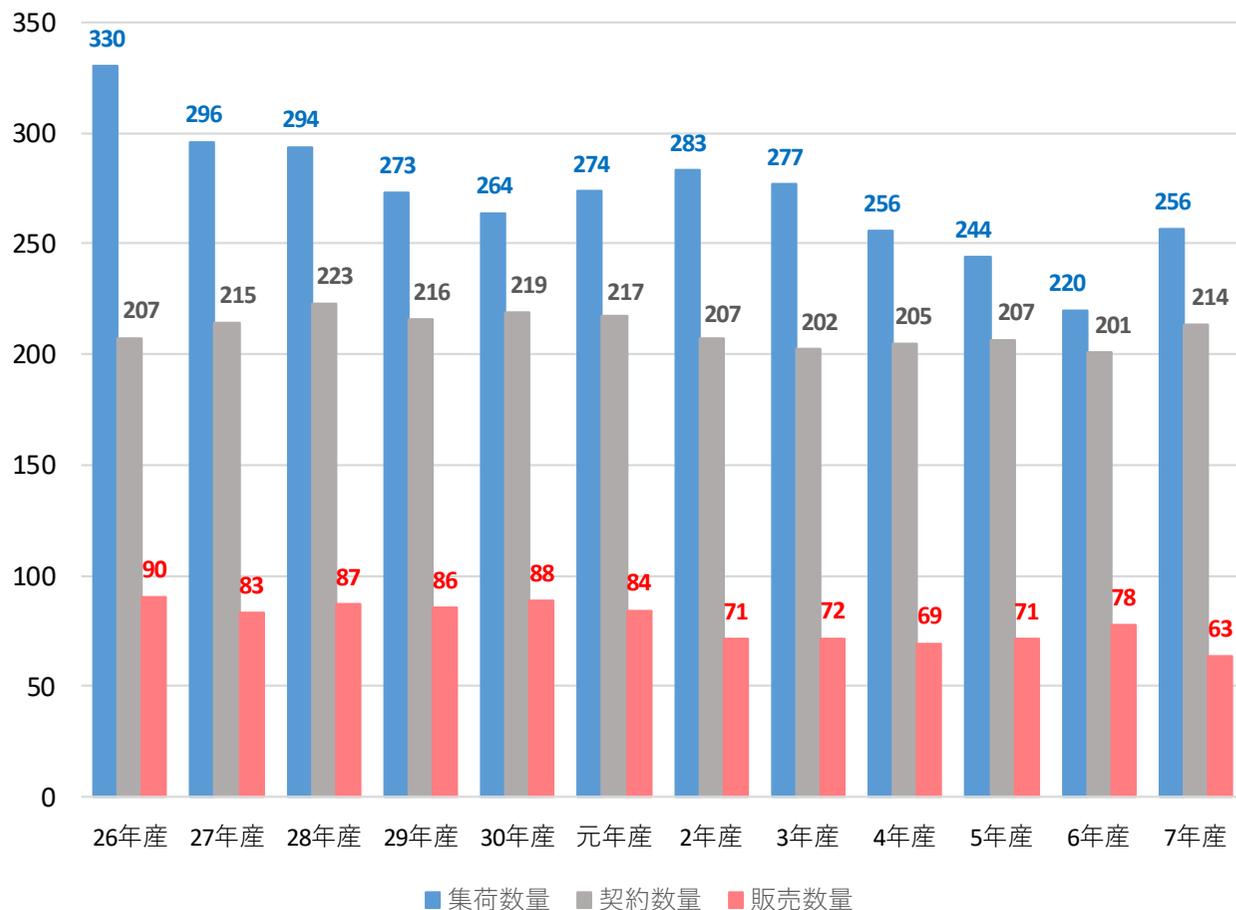


集荷業者の米の集荷・契約・販売状況の推移

○ 令和7年産米の令和8年1月末現在の集荷数量は256.4万玄米トン(対前年同月+36.5万玄米トン)、契約数量は213.5万玄米トン(対前年同月+13.0万玄米トン)、販売数量は63.3万玄米トン(対前年同月▲14.5万玄米トン)。

○ 集荷・契約・販売状況 (出回りから生産年の翌年1月末までの累計)

(万玄米トン)



(単位: 万玄米トン)

年産	年月	集荷数量	契約数量	販売数量
26年産	27年1月末	330.2	207.4	90.4
27年産	28年1月末	295.9	214.5	83.2
28年産	29年1月末	293.8	223.0	86.7
29年産	30年1月末	272.9	215.9	85.5
30年産	31年1月末	263.7	219.0	88.4
元年産	2年1月末	273.5	217.0	84.3
2年産	3年1月末	283.0	206.8	71.2
3年産	4年1月末	276.8	202.2	71.5
4年産	5年1月末	255.7	204.7	69.2
5年産	6年1月末	244.0	206.7	71.2
6年産	7年1月末	219.9	200.5	77.8
7年産	8年1月末	256.4	213.5	63.3
	前年差 (前年比)	+36.5 (117%)	+13.0 (106%)	▲14.5 (81%)

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注: 1 本調査は、平成25年産米の平成26年2月末現在より調査開始。
 2 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。
 3 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。
 4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。
 5 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。
 6 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。